

2. 展覧会の構成

トライ1：色をみつける

色名辞典やカラーチャートなどと比較して、作品の中にある「色」とじっくり向き合ってみましょう。色の名前には、文化と深く結びついています。作品の色を丁寧に探る中で、作品の魅力を一層感じとっていただけることでしょう。

アーシル・ゴキー 《無題（バージニア風景）》
1943-44年 滋賀県立美術館蔵



トライ2：寝そべて見る

展示室に敷かれた畳の上で、座ったり寝そべったり、自由な姿勢で鑑賞します。畳の上でくつろぎながらのんびり眺めることで、新しい楽しみ方に出会えるかもしれません。自分なりの視点で、作品を眺めてみてください。

コンスタンティン・ブランクーシ 《空間の鳥》
1926年（1981年再鑄造） 滋賀県立美術館蔵



トライ3：双眼鏡で見る

作品から離れて全体を眺める視点と、双眼鏡で細部をぐっと引き寄せる視線をいったりきたりすることができます。広い視野で見るときと、質感まで迫って見るときの対比は、肉眼だけでは気づきにくい作品の面白さを伝えてくれます。

トライ4：屏風の中にはいりこむ

屏風のジグザグとした形に合わせて立ち位置を変えることで、描かれた世界に入り込んだような感覚を体験できます。遠くから絵を見るのとは違う見方を楽しんでみましょう。

大林千鶴 《街道》（右隻） 大正初期
滋賀県立美術館蔵



トライ5：なかみをぜんぶバラして見る

仕組み上、美術館の展示では一度に全部を見ることが難しい作品を、レプリカを使って確かめてみます。実際に手に取って広げることで、ガラスケース越しでは確認できない作品の全貌や、その構造をすみずみまで確かめることができます。

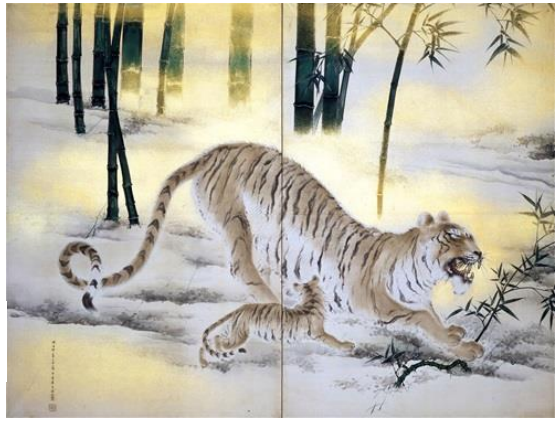
トライ6：すわってじっくり見る

椅子に座り、単眼鏡を使って小さな作品や絵巻物を眺めます。腰を落ち着けて丁寧に向き合うことで、細かな描写に込められた熱量が感じられたり、思わぬ発見があったりするかもしれません。自分のペースでじっくりと味わってみてください。

トライ7：光をかえて見る

自分自身でライトを操作して作品を照らしてみます。光が当たった瞬間に色彩が鮮やかになったり、暗がりだからこそ、うしろの金箔の輝きが見えたりと、照明の加減で変化する作品の豊かな表情に出会えるかもしれません。

岸竹堂《猛虎図》（部分）1895年 滋賀県立美術館蔵



トライ8：まっくらな中で見る

光を遮った真っ暗な空間に入り、懐中電灯の光を頼りに作品を探します。一箇所を照らすことで浮かび上がる表面の凹凸や、壁に映るシルエットなど、普段の明るい展示室ではよく見えなかったものを、自ら見つけ出す試みです。

角喜代則《森の妖精》1993年 滋賀県立美術館蔵



トライ9：作品などにさわって見る

さわることのできる作品（神山清子氏の作品）、屏風・巻物の見本、触図※の3種類のさわれるものを用意しています。視覚だけでなく、手のひらで質感や仕組みを確かめるなど、触覚的に作品を味わう体験をしていただけます。

※触図とは、輪郭線や面を凸状に浮きあがらせたり、素材をかえて手ざわりを変化させたりして、描かれているイメージを触覚で伝えるツールです。

トライ10：作品のなかまになる

今井祝雄氏の彫刻《ヴォワイアン》と同じ椅子に座り、作品の列に加わることができます。ぜひ、彼らと一緒に記念撮影も楽しんでみてください。作品と同じ風景を共有することで、あなたも作品の仲間になったような感覚が得られるかもしれません。



今井祝雄《ヴォワイアン》1994-2010年 滋賀県立美術館蔵

3. 開催概要

展覧会名(正式)：企画展「ためして、みる展 さわって 照らして ねそべて!? アートを楽しむ10のトライ」

展覧会名(略記)：企画展「ためして、みる展」

展覧会名(英語)：Special Exhibition “Try and See”

会 期：2026年4月17日(金)～6月21日(日)

休 館 日：毎週月曜日(ただし、5月4日(月・祝)から6日(水・振休)は開館し、7日(木)は休館)

開場時間：9:30～17:00(入場は16:30まで)

会 場：滋賀県立美術館 展示室3

観 覧 料：一般 950円(800円)

高校生・大学生 600円(500円)

小学生・中学生 400円(300円)

※()内は20名以上の団体料金

※企画展のチケットで展示室1・2で同時開催している常設展も無料で観覧可

※未就学児は無料

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳などをお持ちの方とその介助者は無料

主 催：滋賀県立美術館、京都新聞

後 援：エフエム京都

企 画：平田 健生(滋賀県立美術館 主任学芸員)

4. 小さなお子さんがいる、障害があるなど、何らかの理由で来館を迷っている方へ

滋賀県立美術館では、展示室でもしんと静かにする必要はなく、おしゃべりしながら過ごしていただけます。また、目が見えない、見えづらいなどの理由でサポートや展示解説をご希望される場合や、その他、ご来館にあたっての不安をあらかじめお伝えいただいた際には、事前の情報提供や当日のサポートのご希望に、可能な範囲で対応します。

5. 関連イベント

◆ためして、みるワークショップ 大きなとうめいシートで、そらとぶじぶんをつくろう

[要事前申込/抽選/要参加費]

いつもはできない作品づくりにトライしてみよう。今回のトライは3種類。

①空飛ぶ自分をテーマに、自分サイズの大きな作品をつくろう。

②表から裏からも描ける透明シートに絵を描こう。

③でき上がった作品を宙に浮かせよう。

日 時：5月10日(日) 10:00～12:00、13:30～15:30

場 所：滋賀県立美術館 ギャラリー

対 象：小学生、幼児(保護者同伴)

定 員：各回20名

◆聞く+ためす ギャラリートーク [事前申込不要/当日先着順/要観覧チケット]

作品解説だけでなく、自分の身体を使ってトライした内容を言葉にして分かち合しましょう。

いつもの見方とどう違うか、どこが変わったか。ぜひあなた自身で確かめてください。

日 時：4月29日(水・祝)、5月24日(日)、6月14日(日) 各日とも14:00～15:00

場 所：滋賀県立美術館 展示室3

定 員：各回20名程度

◆子ども向け からだでためす ギャラリートーク [事前申込不要/当日先着順/要観覧チケット]

「ためして、みる展」をみんなで楽しもう。いろんなトライに挑戦して、きみが身体で感じたことをみんなで話そう。

日 時：4月19日(日)、5月6日(水・振休)、6月7日(日) 各日とも10:30～11:30

場 所：滋賀県立美術館 展示室3

定 員：各回親子10組程度

6. 次回開催予定の展覧会（企画展）

展覧会名：「コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画」

会 期：2026年7月3日（金）～2026年8月30日（日）

会 場：展示室3

概 要：福富太郎（ふくとみ たろう、1931年～2018年）は、1964年の東京オリンピック開催による好景気を背景に、全国各地に44店舗ものキャバレー（舞台のショーを見たり、会話を愉しみながら飲食をおこなう娯楽施設）を展開した実業家。本展では、福富が惚れ込んだ鏑木清方の美人画のほか、福富独自の審美眼によって収集された多彩な画家による日本画、明治期以降の油彩画、戦争周辺の絵画など約80件を展示する。

7. 滋賀県立美術館の概要

- ◆1984年8月26日に滋賀県立近代美術館として開館しました。
- ◆日本画家の小倉遊亀（滋賀県大津市出身）や染織家の志村ふくみ（滋賀県近江八幡市出身）のコレクションは国内随一を誇っています。
- ◆2025年度末時点（見込み）の収蔵件数は2,776件です（日本画・郷土美術 1,323件、現代美術 645件、アール・ブリュット 808件）。
- ◆自然豊かなびわこ文化公園内に位置し、周りには、滋賀県立図書館や滋賀県埋蔵文化財センター、茶室「夕照庵」などの文化施設とともに、日本庭園「夕照の庭」や子どもたちに大人気の遊具を備えた「わんぱく原っぱ」、自然とふれあえるビオトープなどが広がっています。
- ◆美術館北側敷地内の「彫刻の庭」には、ドナルド・ジャッド、ケネス・スネルソン、速水史朗、井上裕加里の作品4点を展示しています。また、美術館の西側（公園の敷地内）にある「彫刻の路」には、山口牧生、村岡三郎、植松奎二の作品3点を展示しています。



滋賀県立美術館外観（撮影：大竹央祐）



滋賀県立美術館エントランスロビー（撮影：大竹央祐）

8. プレス発表（美術館の今後の整備と本展についての発表）

- (1) 開催日：2025年4月16日（木）
- (2) 会 場：滋賀県立美術館（大津市瀬田南大萱町 1740-1）
- (3) タイムスケジュール【予定】
 - 13：00～13：30 受付（エントランスロビー）
 - 13：30～14：15 当館ディレクター 保坂健二郎から、美術館の今後の整備の方針について発表（質疑応答を含む）
 - 14：15～15：00 本展担当 主任学芸員 平田健生による展覧会場のご案内
 - 15：00～15：15 展示室内（出口付近）で質疑応答

※13：00～13：30は、展覧会場を自由にご取材いただくことができます。

※2026年3月に策定した「滋賀県立美術館整備基本計画」の説明の時間を設ける予定です。
- (4) 参加申込み
参加を希望される方は、別添「プレス内覧会参加返信表」に必要事項をご記入の上、2026年4月15日（水）までに、メールまたはFAXにてお知らせください。お車で越しの場合は、びわこ文化公園の駐車場（無料）をご利用ください（機材の持ち込みなどの都合上、美術館前までお車の乗り入れが必要な場合は、別途ご相談願います）。
- (5) 注意事項
天災地変等の突発的な事情により、内覧会の内容を変更させていただく場合や開催を中止する場合があります。なお、開催中止の場合は、参加申込みの際にいただいたご連絡先にお知らせします。

プレス内覧会参加返信表

申込期限:4/15 (水)

滋賀県立美術館 行き

Fax : 077-543-2170

Email : museum@pref.shiga.lg.jp

<必要事項>

1) 貴社名 :

2) ご芳名 :

※参加される方すべてのご芳名を記入してください。

3) 参加人数 :

4) TEL :

5) E-mail :

6) 通信欄 :

広報用画像等申込書

滋賀県立美術館 行き

Fax : 077-543-2170

E-mail : museum@pref.shiga.lg.jp

展覧会広報用素材として、作品画像を用意しています。ご希望の方は使用条件をお読みいただき、必要事項をご記入のうえ、メールまたは FAX にてお申し込みください。なお、読者プレゼント用の招待券の提供をご希望の場合は、本申込書の記載欄に併せてご記入ください。

媒体名 :

種別 : テレビ ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー WEB 媒体 その他

発売・放送予定日 :

貴社名 :

ご担当者名 :

E-mail :

TEL :

招待券希望枚数 : 枚 (送付先住所:)

ご希望の画像に☑をつけてください。

<input type="checkbox"/>	① ケネス・ノーランド《カドミウム・レイディアンス》1963年 滋賀県立美術館蔵 © 2026 Kenneth Noland/ARS, New York/JASPAR, Tokyo G4217
<input type="checkbox"/>	② アーシル・ゴーカー《無題 (バージニア風景)》1943-44年 滋賀県立美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③ コンスタンティン・ブランクーシ《空間の鳥》1926年 (1981年再铸造) 滋賀県立美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④ 大林千萬樹《街道》(右隻) 大正初期 滋賀県立美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤ 岸竹堂《猛虎図》(部分) 1895年 滋賀県立美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥ 角喜代則《森の妖精》1993年 滋賀県立美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦ 今井祝雄《ヴォワイアン》1994-2010年 滋賀県立美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧ メインビジュアル
<input type="checkbox"/>	⑨ チラシ表
<input type="checkbox"/>	⑩ チラシ裏
<input type="checkbox"/>	⑪ 滋賀県立美術館外観 (撮影: 大竹央祐)
<input type="checkbox"/>	⑫ 滋賀県立美術館エントランスロビー (撮影: 大竹央祐)

【使用条件】

※広報用画像をご使用の際は、各画像のクレジットを明記してください。

※広報用画像はすべて全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねるなどをご遠慮ください。

※展覧会基本情報と広報用画像の使用法の確認のため、お手数ですが、校正原稿を当館へお送りくださいますようお願いいたします (記事内容や報道原稿を確認する意図ではございませんので、念のため申し添えます)。

※アーカイブのため、後日、掲載誌 (紙)、URL、番組収録のDVD、CD などをお送りください。

※広報用画像は本展の広報・報道のみのご利用となります。ご利用後は必ずデータを破棄していただくようお願いいたします。

①



②



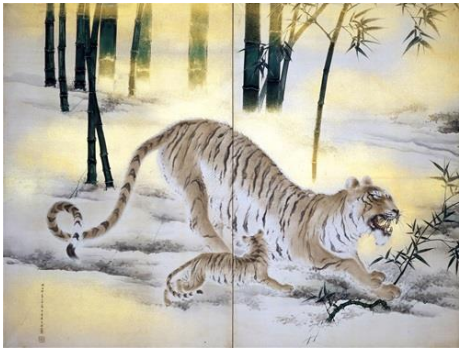
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



11



12

